

## 6 基本的な方針及び計画の目標

「北海道交通政策総合指針」等の本道の上位計画及び関連計画等と、「5 地域公共交通をとりまく現状と課題」を踏まえ、目指すべき将来像と、その実現に向けた基本的な方針及び計画の目標を次のとおり定めます。

### 6.1 計画の基本的な方針

当地域の公共交通の将来像は、地域間幹線系統などの地域住民にとって不可欠な広域公共交通の最適化を図りながら、地域で現在展開、もしくは今後検討することとなるきめ細かな輸送サービスについて、快適な乗継ぎや待合環境を有する新たなバスターミナルなどでネットワーク化を図り、持続可能な公共交通体系の構築を目指します。

公共交通の将来像と合わせ、この実現に向けた基本的な方針を以下に示します。

#### 【将来像】

最適な広域公共交通と地域のきめ細かな輸送サービスとのネットワークにより、持続可能な公共交通体系を構築する。

#### 【基本的な方針】

基本方針A	地域住民等の広域的な移動を支える広域交通の維持・確保
基本方針B	広域交通及び生活圏交通相互の接続による利便性の向上、高齢者などの交通弱者対策
基本方針C	地域全体で公共交通を支える環境や人材の育成・確保



## 【基本方針A】

### 地域住民等の広域的な移動を支える広域交通の維持・確保

通院、通学など生活に不可欠な移動手段である中核都市(群)(札幌市、苫小牧市)と地域中心都市等(新ひだか町、浦河町及び日高町)を結ぶ「広域交通」や、地域中心都市等と各町を結ぶ「地域間交通」について、地域間幹線系統補助等の活用を図りながら維持・確保を図ります。

また、苫小牧～静内間など運行距離が長い路線や、様々な系統が重複する路線については、利用実態に対応したバス路線の最適化について必要な検討・取組を進めます。

## 【基本方針B】

### 広域交通及び生活圏交通相互の接続による利便性の向上、高齢者を含めた交通弱者対策

今後、各町で検討を進めることが期待されるデマンド交通などの生活圏交通とあわせ、各町のまちづくりと連携し、快適な乗継ぎや待合空間の確保など、利便性の向上、高齢者を含めた交通弱者対策を図ります。

## 【基本方針C】

### 地域全体で公共交通を支える環境づくりや人材の育成・確保

運転に不安を持っている方への公共交通の利用促進、高齢者層などへのモビリティマネジメントの推進など、公共交通の利用を活性化する取組の検討を行います。

桜並木や乗馬体験、アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク、襟裳岬など多くの観光資源に恵まれた当地域において、観光資源との連携を図ることや、来訪者が現地交通機関に求めるニーズを把握することにより、それらに対応した措置を検討します。

また、バス運転手を確保するために、就業環境について、積極的に情報発信を行うとともに、大型二種免許の取得支援や交通事業者における健康管理等への配慮策について検討を行います。



## 6-2 基本方針の実現に向けた目標

本計画の基本方針を実現していくため、次のとおり目標を定めます。

### (1) 目標

基本的な方針	目 標
【基本方針A】 地域住民等の広域的な移動を支える広域交通の維持・確保	A-① 中核都市と地域中心都市等を結ぶ広域交通、並びに地域中心都市等と各町を結ぶ地域間交通ネットワークの形成
【基本方針B】 広域交通及び生活圏交通相互の接続による利便性の向上、高齢者を含めた交通弱者対策	B-② 広域交通、地域間交通及び生活圏交通相互の接続等の利便性の向上による利用者増加
	B-③ 地域住民の公共交通の利用機会の拡大・利用促進
【基本方針C】 地域全体で公共交通を支える環境づくりや人材の育成・確保	C-④ 日高地域外からの来訪者の公共交通の利用機会の拡大・利用促進
	C-⑤ バス路線の維持に必要となる公共交通の担い手の確保

